

# みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

## ＜市政相談連絡先＞

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに初春をお迎えのことと存じます。また、後援会をはじめとする地域の方々には、日頃より市政活動に温かいご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年は本市の「上野三碑」が世界記憶遺産の国内候補に決定し、平成29年6月の登録を目指していくことになりました。また、東京オリンピックを視野に入れた浜川運動公園拡張計画や新体育館建設工事等の事業も順調に推進されています。

国においては、夏の参院選から投票できる年齢が18歳からとなりました。戦後70年の節目の年に、若者が政治に大きな関心や行動を示したことも印象に残っていることでしょう。一方、台風17号などの影響による豪雨や、列島各地の火山活動活発化で被害を受けられた方々には心からお見舞い申し上げます。

少子高齢化による人口減少、若い世代の定住人口増加、高齢者福祉の充実など、地方都市としてどのような魅力を打ち出していけるのかが今後の課題といえるでしょう。

これからも住民の皆さまの声を直接聴き、実態を理解することが地方行政の役割であるという考えの基、初心を忘れず全力で議会活動に取り組みますので、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

## 12月市議会定例会報

平成27年第5回市議会定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の会期で開かれました。本定例会では、請負契約締結について（並榎中学校屋内運動場改築工事）、土地及び建物等の取得について、公の施設の指定管理者の指定について、平成27年度高崎市一般会計及び特別会計補正予算議案などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。なお、一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ16億5834万円を追加し総額1644億8778万円となります。

### 東部小学校・塚沢中学校・農大二高の熱演に感動！

全日本小学校バンドフェスティバル・全日本マーチングコンテストが、大阪城ホールを会場に開催され、全国から選ばれた各校が出場し、元気あふれる演奏を披露しました。その中から東部小が日本一となる「金賞」に輝き、塚沢中は銅賞・農大二高も金賞と音楽のある街高崎に「金メダル」を持ち帰ってくれました。



十二月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十二人の議員が行い、高橋みなおは、初日に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

地域公共交通の活性化及び再生について

本市においても将来的な人口減少社会に対応し、都市の持続を図るためにはコンパクトシティの実現、諸機能が集約した拠点同士、拠点と居住エリアを結ぶ地域公共交通ネットワークの構築が必要である。社会的要請の増大に伴い、バリアフリー対象駅の整備が平成三十二年度までに達成目標として掲げられているが、本市の目指す取り組みは、

新町駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき進めていくとともに、井野駅についても課題はあるが、協議や研究を進めていく必要があると考えている。

国や事業者、市民との連携を強固にする取り組みは重要であり、積極的な地域公共交通のネットワーク化の具体的展開が大切と考える。地域公共交通の活性化及び再生については、新たな協議会が必要であり、事業者や地方公共団体だけでなく、現場を知る働く人や有識者、公安委員会の参画が重要なポイントであるが、本市においてそのような組織設置への見解は、

幅広い関係者との相互の連携や地域住民の合意形成が必要不可欠なので、協議会の議論は課題の共有化に必要と考えている。まず、行政部門における十分な研究検討を鋭意進めていきたい。

国や事業者、市民との連携を強固にする取り組みは重要であり、積極的な地域公共交通のネットワーク化の具体的展開が大切と考える。地域公共交通の活性化及び再生については、新たな協議会が必要であり、事業者や地方公共団体だけでなく、現場を知る働く人や有識者、公安委員会の参画が重要なポイントであるが、本市においてそのような組織設置への見解は、

幅広い関係者との相互の連携や地域住民の合意形成が必要不可欠なので、協議会の議論は課題の共有化に必要と考えている。まず、行政部門における十分な研究検討を鋭意進めていきたい。

都市計画道路高前幹線の未整備区間について

まちづくりにおいて市民の活発な協力をいただいております。声にこたえるためにも都市計画道路の整備について示しておく必要があると考えています。新保・日高区画整理地内の高前幹線は4車線化となったが、高駒線までの区間における計画の進捗状況は、

交差形状は立体交差で都市計画決定されているので、事業費が多額になることなど課題も多く事業化の時期や整備手法など研究を重ねていきたい。

競馬場通り線から東口線までの区間は都市集客施設整備などの計画からも重要と認識しているが、どのような考えか。

事業効果の多い路線から優先的に整備しているが、用地買収費などの課題も多く、周辺道路の混雑状況などの調査を進めながら事業化の研究をしていきたい。

都市計画道路の整備が進捗し、部分的に開通すると周辺道路の一部に交通が集中してしまう。通学路や歩道の整備などの安全対策への取り組みは、

警察署との協議により安全対策を行っている。学校関係者及び保護者の要望を聞きながら周辺道路の安全確保を図っている。

後記

2015年の世相を表す漢字に「安」が選ばれました。世界で頻発するテロ事件や異常気象など人々を不安にさせた年というのも理由のひとつか。「地域の安心・安全」や「安全の先取り」を常に心がけている私としては、毎年選ばれても良い漢字という気持ちもしますが、皆様にとって新年が明るく、健康で豊かに過ごせる一年になることを願っております。

国の立地適正化計画制度の創設に基